

表 シカゴ連銀経済報告(2022年6月1日公表)

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	好調に(strong pace)推移 賃金は急速に(rapidly)増加	雇用は、今後12カ月間は緩やかな成長が見込まれるが、各業界の関係者からは、業種やスキルレベルを問わず労働者の確保が引き続き困難であるとの報告があり、多くの企業が人材不足により希望どおりの稼働ができないことを指摘した。また、あるメーカーからは、人手不足解消のため、生産工程の一部を機械化する投資をしているとの報告もあった。全体として、賃金と福利厚生のコストは、新規雇用と人材維持のため急速に増加した。また、関係者は労働者が賃上げを要求するきっかけとして、高インフレを指摘した。
物価	急速に(rapidly)上昇	全体として、4～5月初旬にかけて物価は急速に上昇した。今後12カ月間、物価上昇が強いペースで続くと予想している。生産者物価は、労働、輸送、エネルギー、一部の金属、その他の原材料のコスト上昇を反映し、大きく上昇した。しかし、原材料やエネルギー価格の上昇ペースが鈍化しているとの報告もある。消費者物価は、堅調な需要、限られた在庫、およびコスト上昇の転嫁により、概して堅調に推移した。顧客からの値上げに対する反発は限定的であったものの、一部では前回報告よりも値上げに対する抵抗が大きくなっていると回答するところもあった。
個人消費	控えめに(modestly)増加	消費者の購買行動は、し好品から必需品へとシフトしていることが報告されている。また、地域のフードバンクからは、需要が大幅に増加したとの報告があった。商品別では、食料品がやや増加したものの、家電・電子機器やディスカウントストアでの支出は横ばい、家具や住宅設備への支出は減少した。観光・サービス業は、支出に差があるものの、今後の予約状況からは、夏の旅行需要は旺盛であることが予測される。自動車の販売台数は横ばいで、依然として低い在庫水準が要因となっている。
企業支出	わずかに(slightly)増加	小売在庫は全体的にやや増加したが、サプライチェーンの停滞が続き、引き続き多くのセクターで低水準にとどまっている。製造業の在庫は、全体としては余裕がでてきたが、幅広い投入資材の不足が続いている。製造業や小売業の関係者は、中国での新型コロナウイルスの感染者増加が供給のさらなる混乱を引き起こすことに懸念を示している。運送業はフル稼働を続けており、需要はほとんど変化なかった。設備投資はわずかに増加し、多くの業界関係者がハイブリッド型の勤務形態に環境を整えるための新しい機器や技術の購入を報告している。商業・工業用エネルギー消費は、製造業でわずかに増加、家庭用エネルギー消費はわずかに減少した。
建設と不動産	わずかに(slightly)減少	関係者は、人件費や資材費の高騰が続き、金利上昇も需要を圧迫していると指摘している。複数の関係者が、建築が始まってから必要な資材を購入するよりも、プロジェクト開始前に資材を購入する方がコスト効率が高いと述べている。住宅建設はわずかに減少した。住宅用不動産は、価格上昇と住宅ローン金利の上昇により値ごろ感が損なわれ、小幅に減少した。非住宅建設はわずかに増加した。工業用プロジェクト、特に倉庫やインフラに対する需要は引き続き堅調に増加した。全体として、商業用不動産の需要は価格、賃料ともに横ばいとなったが、独立型ビルなどの小規模なスペースに対する需要は増加している。
製造業	緩やかに(moderately)増加	自動車生産台数は、マイクロチップや他の材料が不足したにもかかわらず増加した。大型トラックの需要・生産量ともにやや増加したが、在庫が非常に少ないため価格は高止まりしている。重機の需要は強く、メーカーの生産能力の制約があるため、需要が供給を上回っている。鉄鋼は、生産がやや増加し、需要もエネルギー産業向けを中心に増加した。金属加工品の売上高は、全体としてやや減少した。
金融	悪化(deteriorated)	株式・債券市場では、金利とボラティリティが上昇し、資産価値が純減したとの報告があった。企業向けローンの需要はわずかに増加し、商業向け自動車、レストラン、建設向けの融資が伸びたとの報告があった。企業向けローンの質と基準は、横ばいとなった。消費者市場では、ローン需要は小幅に減少し、関係者は住宅ローンの借り換えが大幅に減少したことを指摘した。ローンの基準は報告期間中にわずかに厳しくなった。
農業	主要作物の価格上昇	トウモロコシ、大豆、小麦の価格は全て上昇し、ディーゼルやプロパンの価格も上昇した。涼しく湿度の高い天候のため、トウモロコシと大豆の春の植え付けが遅れた。鳥インフルエンザの感染が拡大し、養鶏場の鶏が処分されたため、卵の価格が上昇した。作物農家と同様に、畜産農家も投入コストの増加に直面した。農地価格は引き続き力強く上昇した。

(出所)シカゴ連銀経済報告を基にジェトロ作成